

## 単元名 ふゆを たのしもう

配当時間 10時間

- 単元の目標 (1) いろいろな人々が公園を利用していることや、自然を利用したり遊ぶ物を作ったりすることの楽しさに気付くことができる。
- (2) 遊び方を工夫したり、自分が楽しんだ遊びや感じ取った自然の様子を考えたり、表現したりすることができる。
- (3) 四季の移り変わりに関心を持ち、自然や人々と関わりながら季節に応じた遊びを楽しもうとする。

## 標準的な展開例

01060302\_001

【準備等】 記録カード、風の材料（竹ひご、ビニル袋、風糸、テープ、油性ペン）、氷遊びの材料（洗面器などの浅い容器、毛糸や植物などの飾り）、けん玉、こま、あやとり紐、竹とんぼ、タブレット端末 等

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 校庭で、冬見付けをしながら遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○冬になって気付いたことや、冬に楽しめる遊びを考え、単元の見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・花や緑の葉っぱ、虫を見かけなくなりました。</li> <li>・息が白くなります。</li> <li>・風がビュウビュウ吹いています。</li> <li>・学校に行くときに、車や葉っぱに霜が降りているのを見ます。</li> </ul> </li> </ul> <p>★校庭で冬の遊びをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○校庭に出て、冬の遊びや冬見付けをする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・影遊びをしよう。</li> <li>・葉っぱが枯れて茶色になったね。</li> <li>・体を動かすと温かくなってくるね。</li> </ul> </li> <li>○見付けた冬を紹介したり、風や氷や雪を使った冬の遊びを考えたりして、伝え合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・風車や風を作って遊びたいな。</li> <li>・雪や氷で遊びたいな。</li> <li>・氷遊びをしてみたいな。落ち葉や毛糸を飾りにしたいな。</li> </ul> </li> </ul> <p>2～3 風を利用したおもちゃを作って遊ぶ。</p> <p>★自分だけの風を作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○作り方を知り、風作りをする。</li> </ul> <p>○外に出て遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○感想を伝えたり、風を改良したり修理したりする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇さんと糸が絡まりました。揚げる場所や走る方向に気を付けたいです。</li> <li>・風の足を長くしてみようかな。</li> </ul> </li> </ul> <p>4 冬の遊びを振り返り、気付いたことを伝え合い、記録カードにかく。</p> <p>★見付けた冬を紹介しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○遊んだことや見付けたものを振り返り、気付いたことなどを記録カードにかく。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・風が吹くと寒いけど、風がよく揚がりました。体もぽかぽか温かくなってきました。</li> <li>・影遊びで橋を作りました。みんなで手を繋いで長い橋ができました。</li> <li>・氷遊びが楽しかったです。毛糸と草を入れたらとてもきれいでした。冬のすてきを見付けました。</li> </ul> </li> <li>○気付いたことを伝え合う。</li> </ul> <p>5～6 昔遊びについて知り、遊び方を調べて練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○昔遊びについて知っていることを発表し、学習の見通しをもつ。</li> </ul> <p>★昔からの遊びに挑戦しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然や生活の変化などの冬の特徴に気付かせたり、教科書P.106～107を見て冬の景色を想像させたりする。</li> <li>・冬になって見られなくなったり、少なくなったりしているものにも注目させる。</li> <li>・学校ではどのような冬の様子が見付けられるか問いかけ、めあてを提示する。</li> <li>・冬を楽しく過ごすためにはどうしたらよいか考えさせ、以降の学習につなげる。</li> <li>・季節の変化を体で感じ取り、自然と関わって遊んでいる児童を称賛し、全体へ広げる。</li> <li>・事前に教科書P.113を見せ、影遊びなどの太陽を使った遊びの楽しさを体験させる。</li> <li>・風が冷たくなっていることや、霜やつらら、水溜まりが凍っている意見を取り上げ、どのような遊びができるか考えさせる。</li> </ul> <p>【評】 冬見付けをしながら遊ぶ活動を通して「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作り方は、教科書P.112を参考にしてもよい</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は風を取り扱っているが、児童の実態に合わせて教科書P.112に載っている他のおもちゃを作り、改良する活動に取り組んでもよい。</li> <li>・遊んでいる最中でも、遊び方の工夫などを自由に教え合えるようにする。</li> <li>・風の存在に目を向けさせるような声掛けをする。</li> </ul> <p>【評】 風を作り、工夫しながら遊ぶことを通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・氷遊びは、生活科の授業時間以外でも行えるよう声掛けや道具の準備をし、自由に遊べる環境を作る。影遊びも同様に促す。</li> <li>・冬の自然と関わる楽しさを共有させ、冬の自然と関わったことで自分たちの生活がより楽しくなったことを実感させる。</li> </ul> <p>【評】 記録カードや伝え合う活動を通して「思考・判断・表現」を評価し、冬の遊びをする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のお年寄りに、昔遊びのゲストティーチャーとして招待する計画を立てておく。可能であれば、第8時の発表の時間にも招待する</li> <li>・ゲストティーチャーに昔の遊びを披露してもらい、児童が自分もできるようになりたいと</li> </ul>

- 地域のお年寄りから昔遊びを知る。
  - ・こま回しを初めてやるよ。
  - ・おじいさん、けん玉がとても上手だね。ぼくにも教えてください。
  - ・あやとり名人に教えてもらったよ。はしごが一人で作れるようになったよ。

7 昔遊びを練習したり遊び方を工夫したりする。

★あそび名人を目指そう

- 遊びの練習をする。
  - ・どっちが長くこまを回せるか勝負しよう。
  - ・けん玉は膝を曲げると上手にできるよ。
  - ・2人あやとりも楽しいね。3人でもやってみよう。

8 練習した昔遊びを披露する。

★あそび名人になって遊びの楽しさを伝えよう

- 遊びごとに遊びや技を披露する。

- 感想を伝え合う。
  - ・〇〇さんのこま回しが上手でした。今度こつを教えてください。
  - ・二人あやとりが楽しそうでした。形に名前を付けるところがおもしろかったです。
  - ・昔遊びが上手になって嬉しいです。教えてください。
  - ・おばあさんに「ありがとう」と言いたいです。

9～10 これまでの記録をもとに、季節の変化を振り返る。

★季節の変化を振り返ろう

- 記録カードや写真を見て、季節の様子を思い出し、季節の変化について話す。
  - ・春にはみんなで遊んで楽しかったよ。
  - ・夏は水遊びをしたね。暑かったけど水で遊んだら気持ちよかったです。
  - ・秋までは虫がいたけど、冬になったら見なくなったよ。
  - ・秋には落ち葉がたくさんあったね。
  - ・冬は木から葉がなくなっていたね。
  - ・冬は寒くて、水がこおっていたよ。
- 1年間の記録をもとに、楽しかったことやがんばったことについて話す。
  - ・みんなで楽しく遊べたよ。
  - ・風を作ったときに、高く飛ぶように工夫するのをがんばったよ。

いう気持ちを高め、めあてを提示する。

- ・遊びごとにブースを設け、ゲストティーチャーをそれぞれ配属し、児童が自由に行き来できるような環境作りをする。
  - ・遊び方やこつなどは児童から積極的に質問するように声掛けをする。
- 【評】昔の遊びの仕組に気付いたり遊び方を学んだりする活動を通して「知識・技能」を評価する。

- ・休み時間も自由に遊べる環境を整えておく。

- ・いろいろな昔遊びの中から極めたい遊びを一つ選んで技を習得し、次時に発表することを伝える。
- ・より楽しく遊ぶための工夫やルールを児童に考えさせる。

【評】練習の仕方やより楽しくなるように遊び方を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

- ・ゲストティーチャーを再び招き、上達した様子を見せられるとよい。
- ・本時を迎えるまでに、休み時間等を利用して自主的に練習することを促す。
- ・児童が考えた遊び方やこつなども紹介させる

- ・自分自身の変化や友達のすごいところ、ゲストティーチャーへの言葉など、さまざまな観点から考えさせる。
- ・成長した喜びや教えてくれた人に感謝の気持ちを表現している児童を取り上げ称賛する。

【評】昔遊びを練習したり、披露したりする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

- ・今までの記録カードや活動の写真を提示し、児童が季節の様子を振り返りやすくする。
- ・教科書P.116～117を見せ、季節の様子や変化について考えさせてもよい。
- ・季節の変化を考えることで、季節によって特徴があることに児童が気付けるようにする。

【評】季節の変化を考える活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

- ・季節を通してみんなで楽しく遊べたり、遊び方を工夫したりしたことを思い出させ、児童自身の成長に気付かせる。

【 備 考 】

・雪が降った場合は、「かぜと あそぼう」で風と遊ぶ時間を短縮したり、「おもい出して みよう」を1時間で実施したり、小単元の内容を一部変えたりして「ゆきや こおりで あそぼう」の学習を取り入れてもよい。

・昔の遊びを知っている地域の方々との連携が可能な場合、「もっと あそびたいな」を設定する。地域の方を2回招く機会を設け、1回目は昔の遊びを教えてもらう学習を行い、2回目は児童が上達した昔の遊びを披露する発表会を行う学習計画になっている。そのため、事前に地域や家庭に呼びかけておく必要がある。

・地域の方を招かず、1～4時間完了として計画してもよい。4時間完了として設定しない場合は、残りの時間を「ふゆをたのしもう」の冬の遊びや、「もうすぐ 2年生」の新1年生を迎えるための準備に充てることも考えられる。

・「あそびに いこうよ」や「あきを たのしもう」の単元と関連させながら指導するとよい。

・二次元コードを読み込み、冬のおもちゃの作り方を確認しながら作業させたり、昔からの遊びを確認したりしながら活動させるとよい。